

(表紙)

令和5年度環境活動レポート

(対象期間:令和5年5月～6年4月)



作成日 : 令和 6年12月10日

更新日 : 令和 7年 1月17日

三浦建設工業株式会社

ごあいさつ

大正5年(1916)創業以来、昭和、平成の時代にわたり、地場の企業として微力ながらも地域の発展その一翼を担って参りました。
企業として「もの創り」を通して環境への取り組みを効果的、効率的に行い、より一層ご満足頂ける製品作りを目指して社員一同、「和と創造」の精神をもって努力しております。

三浦建設工業株式会社
代表取締役 三浦 隆宏

I 環境方針

環境理念

三浦建設工業株式会社は、「もの創り」を通して、全ての事業活動において環境保全に取り組み、地球環境を考慮した企業を目指します。

行動方針

1. 全社で省エネルギー活動を推進します。
2. 廃棄物の分別に力を入れ削減及びリサイクルを推進します。
3. 排出水の適正な管理を行うとともに、節水を推進します。
4. 使用資材等の化学物質の適正管理を行います。
5. 環境に配慮した、施工や作業を推進します。
6. 環境関連法規制等を遵守します。
7. 環境経営の継続的な改善を行ないます。

作成日 : 平成29年 9月 1日

更新日 : 令和 7年 1月17日

三浦建設工業株式会社
代表取締役 三浦 隆宏

II 組織の概要

1 名称及び代表者名

三浦建設工業株式会社 代表取締役 三浦 隆宏

2 所在地

本社・工場 青森県八戸市大字鮫町字高森30-8

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 取締役工場長 進藤 正義 TEL : 0178-35-2100

担当者 総務部次長 下村 潤一 TEL : 0178-35-2100

4 事業活動の内容

建設業許可 ○青森県知事許可 特定-3 第12200号
土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
ほ装工事業、塗装工事業、防水工事業、解体工事業
○青森県知事許可 一般-3 第12200号
機械器具設置工事業

5 事業の規模

工事等の件数	157件／年間
売上高	5,635百万円（令和5年度）
従業員数	93人
事業所の延べ床面積	14,126㎡

6 対象範囲（認証・登録範囲）

三浦建設工業株式会社の全ての事業活動及び組織を対象範囲とします。

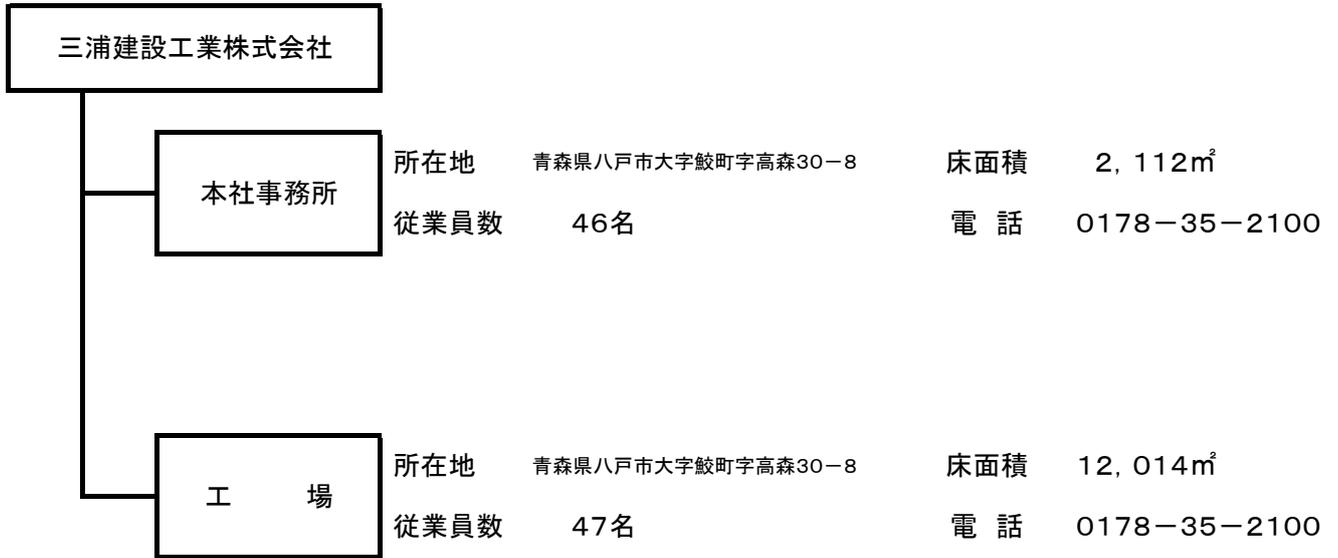
7 事業年度

5月～4月

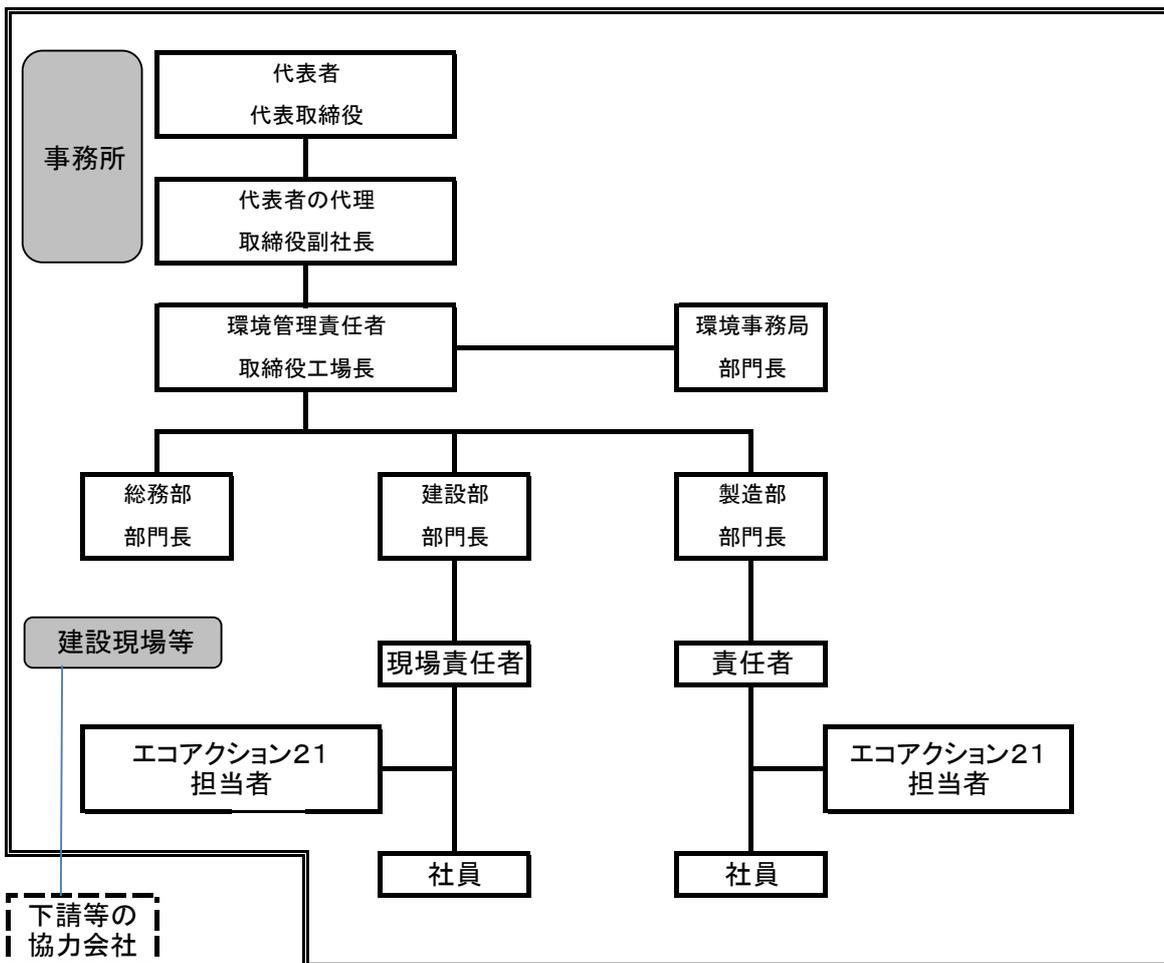
8 環境活動レポートの対象期間

令和5年5月～令和6年4月

三浦建設工業株式会社組織図



実施体制図



Ⅲ 環境目標とその実績

1 主な環境負荷の実績 (環境負荷の状況について、概要を記述する)

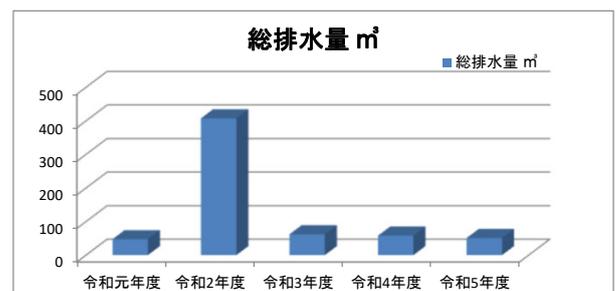
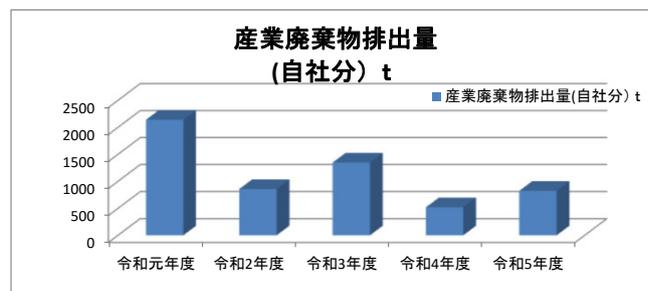
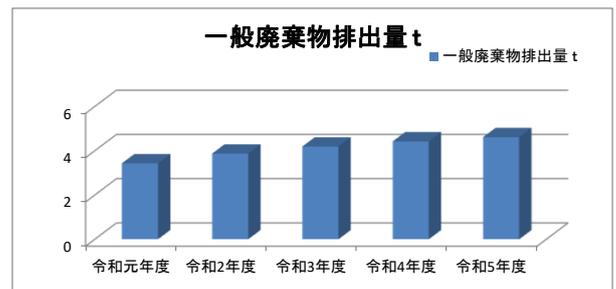
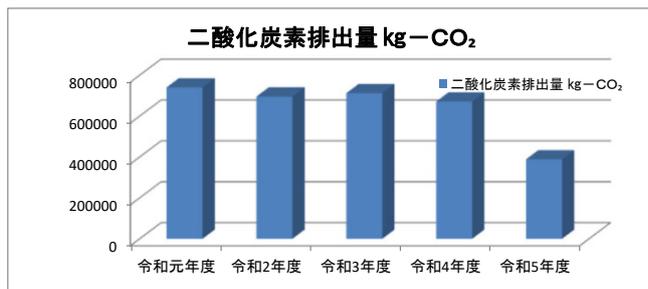
当社は、主に建築工事業などを中心とした総合建設業に係る事業活動を行っており、環境負荷は、表1の通りです。

二酸化炭素排出量については、電力、燃料等によるもの等が主なもので、令和5年度、388,990kg-CO₂/年です。

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	740,576	695,720	712,303	671,336	388,990
一般廃棄物排出量	t	3.43	3.87	4.19	4.42	4.61
産業廃棄物排出量(自社分)	t	2,139.90	858.00	1,347.88	519.40	824.03
総排水量(水資源投入量)	m ³	47.50	407.50	62.00	58.00	51.00
化学物質使用量	t	25.45	60.33	26.62	26.35	65.75
環境に配慮した施工	件数	0	0	0	0	3
地域貢献活動	件数	0	0	0	0	5

(注) 二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、令和元年度までは0.556kg-CO₂/KWH、令和2年度からは0.5236kg-CO₂/KWHを使用。



2 環境目標の設定

当社では、事務所及び建設現場等における環境目標を設定し、環境負荷削減等に取り組んでおります。表2は、全体の環境目標を掲載しました。

表2 環境目標 (全体)

コア指標	環境方針	環境目標項目	削減率又は増加率(%)	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)			中長期の目標 令和5年度～ 令和7年度
			単位		基準値	令和5年度	令和6年度	
二酸化炭素 排出量	省エネルギー の推進	電力の削減	削減率(%) kwh	令和4年度 1,060,980	1,055,675 0.5%	1,050,370 1.0%	1,045,065 1.5%	1,045,065 1.5%
		灯油の削減	削減率(%) L	R4年度 13,780	13,711 0.5%	13,642 1.0%	13,573 1.5%	13,573 1.5%
		ガソリンの削減	削減率(%) L	R4年度 16,490	16,408.0 0.5%	16,325.0 1.0%	16,243.0 1.5%	16,243 1.5%
		軽油の削減	削減率(%) L	令和4年度 16,698	16,615 0.5%	16,531 1.0%	16,448 1.5%	16,448 1.5%
	二酸化炭素 排出量の削減	二酸化炭素排出量 の削減	削減率(%) kgCO ₂	R4年度 601,312	598,305 0.5%	595,299 1.0%	592,292 1.5%	592,292 1.5%
廃棄物排出量	一般廃棄物 の削減	ごみの削減	削減率(%) kg	令和4年度 4,415	4,393 0.5%	4,371 1.0%	4,349 1.5%	4,349 1.5%
	産業廃棄物の再 資源化推進	再資源化率の増加	削減率(%)	令和4年度 84.82	84.40 0.5%	83.97 1.0%	83.55 1.5%	83.55 1.5%
総排水量	節 水	節水	削減率(%) m ³	令和4年度 58.00	57.71 0.5%	57.42 1.0%	57.13 1.5%	57.13 1.5%
化学物質		化学物質の管理推 進	- kg	令和4年度 65,750	・(行動目標)化学物質については、漏洩等が無いよう 適正に管理し、定期的に確認します。			左に同じ
自らが施工・販売・提供する製品 及びサービスに関する項目		環境に配慮した施 工の推進	- 件数	令和4年度 -	・(行動目標)建設現場等においては、環境に配慮した 作業・施工を推進し、定期的に確認します。			左に同じ
地域貢献	地域貢献活動の 推進	清掃活動等	増加率(%)	令和4年度	5.03	5.05	5.08	5.08
			件数	5.00	0.6%	1.0%	1.6%	1.6%

購入電力の排出係数は、令和5年度東北電力株の実績排出係数

0.457 を使用しました。

項目	排出係数
電力	0.457 東北電力株の令和5年度実績排出係数
灯油	0.0679
A重油	0.0693
都市ガス	0.0513
LNG	0.0494
LPG	0.0598
ガソリン	0.0671
軽油	0.0687

3. 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

令和5年5月から令和6年4月までの事業期間の実績についての評価結果を報告します。

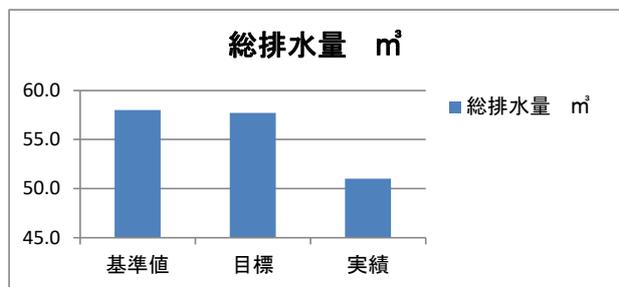
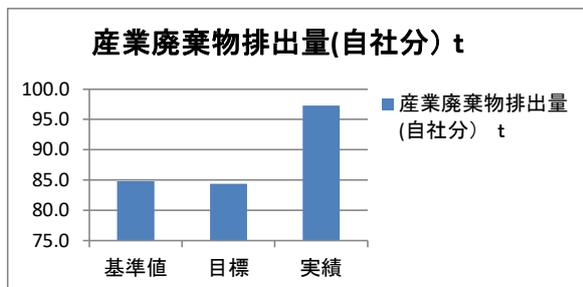
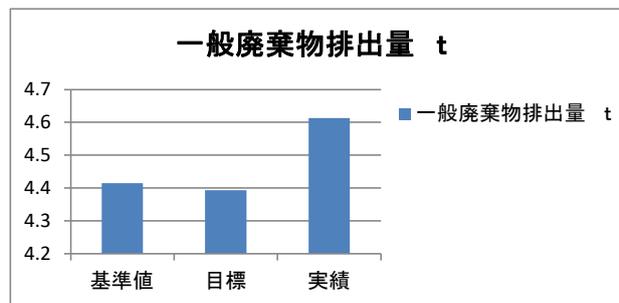
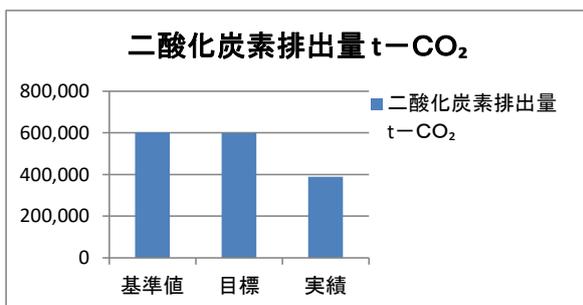
二酸化炭素排出量の環境目標を達成することができました。化学燃料のエネルギー消費について削減できたことは評価できると考えます。

廃棄物関連排出量については、事業活動が活発化する中、産業廃棄物の再資源化が増加するなどプラス要因があったものの、一般廃棄物の排出量は逆の結果となりました。

全社において、廃棄物の分別に力を入れるなど可能な限り再資源化を図り、二酸化炭素排出量の削減を行ってまいります。

表3-1 当該年度の環境目標の達成状況等(事務所、工場+建設現場)

項目	単位	基準値 (令和4年)	令和5年度			環境目標の 達成状況
			基準年対比(%)	目標値	実績値	
1. 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	601,312	-35.3% 削減	598,305	388,990	○
電力使用量	KWh	1,060,980	-40.9% 削減	1,055,675	626,810	○
灯油使用量	L	13,780	-25.9% 削減	13,711	10,205	○
ガソリン使用量	L	16,490	-5.0% 削減	16,408	15,671	○
軽油使用量	L	16,698	-7.1% 削減	16,615	15,518	○
2. 一般廃棄物排出量	t	4.415	4.5% 増加	4.393	4.613	×
3. 産業廃棄物の再資源化	%	84.82	14.7% 増加	84.40	97.27	○
4. 総排水量 (水資源投入量)	m ³	58.00	削減 増加	57.71	51.00	○
5. 化学物質使用量	kg	—	(行動目標)		26,353	—
6. 自らが施工・販売・提供する製品及環境に配慮した施工に関する項目	件数	—	(行動目標)		—	—
7. 地域貢献活動	件数	5	100.0% 達成	5	5	○



IV. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容(達成手段)を表4の通り作成した。尚、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。省エネ、建設リサイクル、節水等についての取組状況について、取組結果の評価結果等を簡潔にコメントする。また、社会貢献活動等特にアピールしたい事項についても記載する。

表4 主な環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組み結果	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①事務室等の昼休み残業時不必要な時は消灯している ②外気温度が概ね20～27度の中間期は、全熱交換器のバイパス運転を行っている。または、窓の開閉等により外気取り入れ量を調整して室温を調節している。 ③人感センサー付の照明器具に一部変更導入をし継続的に使用している。 ④会社敷地内に「自家消費型太陽光発電施設」を導入しより効果的な省エネルギーの取り組みを行っている。	○	目標達成。	毎月の電力利用状況の確認と監視システムにより傾向分析を随時行う。電力量削減のための設備等の継続的運用を実施する。
	建設機械等の燃料の二酸化炭素削減	①エコドライブ等運転方法の配慮(急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐車中のエンジン停止等)を励行している ②作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図っている。 ③運搬車両等や過積載が行われないよう徹底している	○	車両移動について必要最小限の利用を行なった。	可能な限り車両、建設機械利用については、相乗移動、利用期間短縮等稼働台数を減らす。出張等の公共交通機関利用推進。
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①燃料消費の少ない工法への変更に取り組んでいる ②工法や作業方法によって、燃料消費の少ない建設機械等や設備機器を選定している	○	目標達成。	空調設備など環境配慮製品の導入検討を行なう。
廃棄物排出量削減	廃棄物の発生抑制	①品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底している	△	目標未達成。	必要分の仕入、購入を行い。在庫数量を減少に努める。
	リサイクルの促進	①生産工程から発生する金属屑、紙屑、廃液、汚泥等の回収・再利用のための設備を設け、活用している ②建設現場等で発生する建設副産物の再利用率向上のために工夫している	○	本社及び建設現場において分別等の表示をして分別を徹底した。	分別の徹底とリサイクルの促進を行なう。
	産業廃棄物等の適正処理	①廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている。	○	目標達成。	
総排水量削減	節水	①社内及び現場事務所において、節水活動を積極的に行っている	○		
	排水処理	①排水等を定期点検を行い、適正に管理している	○		
生活環境保全の取組		①悪臭防止のため排出口の位置等の配慮を行っている	○		
化学物質の管理推進		①有害性の化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録・管理している。	○	環境配慮型商品の購入を積極的に行っている。	管理監督者、担当者の職務分掌の強化を実施する。
環境に配慮した施工の推進		①環境に配慮した施工の推進している	○	客先への照明設備のLED化の推進を行なった。	計画的にLED化の推進。
・環境コミュニケーション ・社会貢献 ・その他		①調達する原材料について、認証品(森林認証、漁業認証等)の活用を指向している ②地域のボランティア活動等に参加し、協力や支援を行っている	○	コロナ5類指定以降、地域ボランティア等の活動に積極的に参加できた。	継続的にかつ積極的に参加したい。

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

令和6年5月10日環境関連法規遵守の確認において、建設リサイクル法、廃棄物法等の環境関連法規の違反はありません。住民等からの苦情もありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、苦情、訴訟について、問題ありません。

【受審事業者に適用される主な環境関連法規等の一覧】

関連法規制等の名称	遵守の状況
廃棄物処理法	○
浄化槽法	○
消防法	○
フロン排出抑制法	○
水質汚濁防止法	○

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21について継続的な取り組みをした結果、従業員の環境保全に対する意識の向上が益々図られより活発化しており、その結果、二酸化炭素排出量の削減を行うことができました。

最も効果的であった取り組みは、会社敷地内に「自家消費型太陽光発電施設」を導入し、より効果的な省エネルギー活動を率先して行ったことが成果であると評価します。

次年度については、二酸化炭素排出量について検討が必要なものについては、計画的かつ効率的な取組をするよう指示しました。